

日枝神社役員からのたより

■ 樹木の伐採と枝下ろしをしました

9月21日(日)、10月17日(金)の両日、主に、境内の東側を宮役員、山王会員との共同で作業にあたりました。17日は、素人では困難な高所を、業者による機械を入れての実施でした。



<作業風景と伐採後の様子です>



■ 左の絵は、江戸時代の末に編まれた「相中留恩記略」という書物の挿絵です。真田村から東の方角、寺田縄村を遠望しています。中央のこんもり繁り、辺りを凌ぐ木々が山王社(現・日枝神社)の杜です。(絵の中に「山王社」、その右は「寺田縄村」と記されています)



■ この杜に守られた社殿の中に本殿が安置されています。

本殿の正面、梁を支える曇股の装飾には、写真のような

「猿・申」の彫刻

が彫られています。「猿・申」は、山王権現の使い(神使)とされています。

本殿は、元禄五年(1692)に造立されたことが、納められている棟札に残されています。